

# SSH活動報告

## 学校代表の生徒たちが全国各地の発表会で研究・探究成果を披露

### SS探究(課題研究)発表会、芝高課題研究発表会 ～ESDフォーラム～(7月10日～11日/新潟県新発田市)

2年8組 秋澤 雄生



5月のある日、昨年度の現代文明論発表会で最優秀賞をいただいた僕に「秋澤氏、一緒に新潟へ行こう」と野口先生から声がかかった。新発田高校でプレゼンをしてほしい、1,000人の前で、しかも英語で、というミッションだった。

まあ翻訳機を使えばいいかとOKしたが、難しいテーマのせいか翻訳機では英語が成立しないという事態。そこで一から日本語で原稿を作り直し、電子辞書を片手に英文を作り、英語の先生を見つけては質問して原稿を完成させた。スライドは絵や写真、アニメーションで引きつけ、また文章は短いフレーズやキーワードだけにして、押さえておきたいポイントには日本語訳を加えた。そしてプレゼン練習は、サチヨ先生やネイティブの先生方に何度も何度も見てもらった。

その甲斐あってか、発表当日は、インパクトがあって英語もわかりやすく、引き込まれたよといううれしい反響があり、たくさんの方から握手を求められた。今回の経験がこれからの自分に大きくプラスになると確信した2日間だった。

### SSH東海フェスタ2018(7月14日/名古屋市)

3年10組 加藤 季新



愛知県の名城大学天白キャンパスで行われた東海フェスタに参加しました。私は口頭発表部門で、現在取り組んでいるビオトープの研究発表をしました。その日、私は喉のコンディションが非常に悪く、直前までのど飴を服用していました。しかし、最後まで声がかすめることもなく、無事に発表を終わらせることができました。また、発表を聞いた人から多くの質問や意見をいただくことができました。

前回、私はT-JSSFというタイの研究発表会に出席しました。そして今回のフェスタにもプリンセス・チュラポーン・サイエンス・ハイスクール・トラン校の生徒が参加していました。トラン校では卵の殻を使った燃料の開発をしており、英語で研究発表をしていました。このような国際連携が高校のうちからできることはとても素晴らしいことだと思います。しかし、今回の件で自身の英語力に不安を感じたので、これからのモトリアムのうちに、積極的に英語でのコミュニケーションができるよう英語の学習により力を入れていきたいと思えます。

### SSH生徒交流会「高校生環境フォーラム」(7月21日/福井県小浜市)

1年7組 小松原 来未



夏休み前最後の日、環境フォーラムに参加するために福井に行った。私は普通クラス所属のため、課題研究について何もわからなかった。何も知らない、わからない状態でSSH企画の環境フォーラムに飛び込んだのだ。学校のメンバーとはまた違った雰囲気の高校生がいてたくさんの方が学べた。いくつかのグループが舞台発表を行っていたがどれも先輩から研究を引き継いだり、長い間記録をとってあったりしてとてもレベルが高かった。私たちもポスター発表を行ったが、質問された内容が鋭いものばかりでとても刺激になった。また、発表の後に行ったディスカッションでは、現地や他の地域の高校生と直接関わることができた。ここでは課題研究をすることでどういった能力が身につけられるかということと話合った。それぞれ課題研究を持っている高校生だったため、さまざまな話を聞くことができ楽しかった。

今回の環境フォーラムではたくさん刺激を受けることができいい経験になったと思う。また、課題研究について興味を持つことができた。普段からさまざまなことに興味を持って生活していきたい。

## SSH活動速報

- |        |                  |  |
|--------|------------------|--|
| 6月 2日  | サイエンス基礎          | リベラルサイエンス環境「私たちが暮らす地球」についての講義  |
| 6月 9日  | サイエンス基礎          | 更江渉先生(「研」宇宙航空研究開発機構)による宇宙環境・開発についての講義  |
| 6月11日  | アカデミックプレゼンテーションⅡ | Finish writing, practice time  |
| 6月15日～ | 公共科学論            | 数学科教員によるユニット授業「科学と数学と公共」の開始(全3回)   |
| 6月16日～ | サイエンス基礎          | 国語表現演習「言語に関するミニ課題研究」の開始(全4回)   |
| 6月18日～ | アカデミックプレゼンテーションⅡ | Debate day(全3回)  |
| 6月19日～ | 高校現代文明論          | 「現代文明の諸問題」リサーチ編の開始(全8回)  |
| 6月21日  | サイエンス基礎          | 地質標本館・筑波宇宙センターの見学  |
| 6月22日  | サイエンス基礎          | リベラルサイエンス物理「電気エネルギー」についての講義と電気パンの実験  |
| 6月23日  | サイエンス基礎          | 星野一生先生(慶應義塾大学准教授)によるプラズマについての講義と実験   |
| 6月25日  | サイエンス基礎          | 那珂核融合研究所の見学と研究者との交流(キャリア教育として普通クラス生徒も参加)   |
| 6月30日  | サイエンス基礎          | 岡野邦彦先生(慶應義塾大学教授)によるプラズマについての講義と燃料電池の実験   |
| 7月 2日～ | 課題実験             | 個別実験の開始(全17回)  |
| 7月 9日  | 科学文明論Ⅱ           | 保健体育班による生殖医療に関するプレゼンテーション  |
|        |                  | 連携先:東海大学医学部付属病院、順天堂大学医学部附属順天堂医院、東邦大学医療センター大森病院、(株)北里コーポレーション   |
| 7月13日～ | 公共科学論            | 地理歴史・公民科教員によるユニット授業「科学と公共Ⅰ」の開始(全3回)  |
| 7月13日  | 科学文明論Ⅱ           | 保健体育科教員による生殖医療に関するワークショップ  |
| 7月21日  | 科学普及活動           | 鈴木恒則先生(元東海大学教授)によるファミリー科学教室のサポート(SSH委員)  |
| 8月 1日～ | 課題実験             | 海洋調査研修船「望星丸」での採集・観測実習(自然環境分野選択者)   |
| 8月 6日～ | 企業連携             | 帝人(株)、キャノンエコロジーインダストリー(株)、日本ペイント・インダストリアルコーティングス(株)、大日本印刷(株)、総合警備保障(株)、加賀電子(株)、(株)GSユアサ、サンコー・エア・セルテック(株)への訪問 |
| 8月27日～ | サイエンス基礎          | 科学体験学習旅行の成果に関するプレゼンテーション(全2回)  |